

清水東地区の誇り

里地里山ならではの郷土伝統



「清水東神社誌」は清水東地区の集落にある各神社の由緒や村の生い立ちなどを紹介している。神社を通して、地区の歴史を知ることが出来る。



「小羽山30号墓」は、福井市指定史跡に指定されており、方墳四隅が延びた形態の四隅突出古墳である。この種の古墳としては比較的大きく、その姿がはっきりわかるものとして珍しく、発掘された副葬品から、弥生時代の首長の噴墓だと推定されている。



「菅笠^{すげ}」は、江戸時代より農家の副業として盛んに作られており、農閑期に湿地の有効利用として行われる菅笠づくりは冬季の大きな収入源となっていた。平成元年に清水杉谷町では「越前菅笠を守る会」が結成され、原料のすげの栽培、竹の骨組み作り、笠縫いの伝統を守り続けている。



「越前菅笠を守る会」代表
田中 久則さん

代表の田仲さんは、「戦後から菅笠の需要が減ると共に作り手も減少。それを食い止めるべく発足した『越前菅笠を守る会』は、技術の継承に取り組むため、後継者養成講座や小学校における体験教室で会員の方々と指導を行っています」と話す。

清水東公民館

住 所／福井市三留町14-11-1
電 話／0776-98-4510
交通機関／京福バス「三留」バス停から徒歩5分